

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

増田朝子

実施月日	令和 6 年 10月 28 日 (月)		
実施時間	14:00~16:00		
調査先	豊島区役所		
調査所在	東京都豊島区南池袋2丁目45-1		
調査の目的	消滅可能性自治体の課題と成功事例 女性にやさしいまちづくり		
調査先担当者	政策経営部企画課長 澤田健司氏、子ども家庭部子育て支援課長 安達絵美氏		
内容・結果等	◎消滅可能性都市への対応について		
	2014年5月8日:日本創生会議より、豊島区が「消滅可能性都市」となる推計を発表		
	5月16日:「豊島区消滅可能性都市緊急対策本部」設置→具体的対策に着手		
	①子どもと女性にやさしいまち ②様々な地域と共生・交流 ③高齢になっても元気に住み		
	続けられるまち ④日本の推進力(文化など)		
	7月19日:「としま100人女子会」開催 8月~11月「としまF1会議」開催(11事業を予算化)		
	2016年「女性にやさしいまちづくり推進事業」を重点化(38事業43億6千万円)		
	2018年:アートイレ第1号完成 「消滅可能性都市」から「持続発展都市」への脱却を独自に宣言		
	◎子育て支援対策について		
	妊娠から出産・子育て期経済的支援…①出産応援ギフト(5万円相当:電子クーポン)		
	②ゆりかご応援グッズ(5千円相当:選べるプレゼント) ③子育て応援ふくろう(スマイルカード:誕生記念樹引換券) ④子育て応援ギフト(10万円相当:電子クーポン) ⑤誕生お祝い		
	品(5千円相当:選べるプレゼント) ⑥育児支援品を選べる電子クーポン(3千円:訪問ごと		
	に最大8回) ⑦1歳のバースディ訪問(6万円相当:商品券等育児パッケージ)		
	【感想】 まずは、2014年に「消滅可能性都市」の発表後、「としま100人女子会」「としまF1		
	会議」などスピーディーで大胆な対策をとられたことに、首長の本気度を感じた。また、出産		
	後の支援(電子クーポンなど)も手厚く、「子どもは地域の宝」をしっかりと実践されていた。		
	区民の声を施策に反映するを基本に住みたい、住む続けたいまちづくりを推進されている。		
	本市においても、まずは市民の声を施策に繋げることが大切と強く感じた。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	旅費		20,340
	宿泊		10,000
	電車等		6,100
	合 計		36,440

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 増田朝子

実施月日	令和 6 年 10月 29 日 (火)			
実施時間	13:30~16:00			
調査先	農林水産省			
調査所在	千代田区永田町2丁目1-2			
調査の目的	農業政策とうれしの茶の生き残り政策			
調査先担当者	大臣官房政策課 企画官 岩谷あゆみ氏、農産局技術普及課 課長補佐 宮永誠一氏、新技術推進係 前川皓汰氏、技術会議事務局 技術政策室 課長補佐 本間圭祐氏、大臣官房デジタル戦略グループ 調査官 太田行即氏、農産局果樹・茶G 課長補佐 河合智之氏			
内容・結果等	①日本農業の現状と今後の農業政策…(改正のポイント)・国民一人一人の「食料安全保障」を基本理念の中心に ・「環境と調和のとれた食料システム」 ・人口減少下における農業生産の方向性を明確化 ・農村の地域コミュニティの維持を明確化 ・「食料システム」の位置づけと関係者の役割を明確化 ・次期基本計画の策定 ・政策の進め方			
	②スマート農業…①農業分野におけるICT,ロボット技術の活用 ②人工知能(AI)等を活用した研究開発 ③スマート農業による環境負荷の低減			
	③農業DX…我が国の農業・食関連産業のデジタル化は、一步一步着実に前進。現在は、デジタルトランスメーションに向けた移行期。			
	④お茶…770億円の産業規模。主要産地:①静岡県 ②鹿児島県 ③三重県 ④京都府			
	⑤福岡県(上位3県で約7割)「せん茶」「かぶせ茶」「玉緑茶」「玉露」「てん茶」			
	・荒茶か価格の動向 ・お茶の消費動向 ・消費市場の変化 ・日本茶と暮らそうプロジェクト			
	・消費の拡大(茶の機能性のPR)・生産直強化に向けた取組(スマート農業の展開)			
	・お茶の輸出入の動向・お茶の輸出額292億円・有機栽培茶の輸出			
	【感想】農林水産省での研修を初めて受け、質問内容別に担当課が対応されたことに驚いた。食料・農業・農村基本法改正で人口減少化における農業生産の方向性を明確にするための「生産性の向上」「付加価値の向上」「環境への負荷の低減」があり、それがスマート農業や農業DXの導入につながることが理解できた。お茶に関しては、国内の消費動向は減少しているが、輸出が伸びていることに驚いた。今回、農業全般を学ぶ良い機会となった。			
	経 費 の 内 容			
	支 払 先			
	金 額 (円)			
	上記活動に要した経費	旅費		(1)に記載
		宿泊費		
		合 計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。
会議や研修等の資料についても整理保管すること